

7月4日の第三回(ウェブ)執行委員会で、各支部の必達加入目標数や天草支部を加入拡大重点地域とすることと共に、組織拡大運動を強力に進めるために支部長や専門部長等で構成する組織拡大実行委員会の設置を決定した。

初回の実行委員会を8月1日に開催し、その後は二カ月に一回実行委員会を開催しながら、具体的な組織拡大運動を展開していくことになる。

公立学校共済組合熊本県支部の運営審議会は、校長会や教育庁職員、教職員組合等の代表者10名で構成され、熊教組からは委員長と書記長が委員となっている。会は7月2日に水前寺共済会館で行われ、19年度の決算と水前寺共済会館の宿泊料金の改訂を承認した。

水前寺共済会館の宿泊料金の改訂内容は、休日前料金の導入(一般宿泊者のみに適用)と、料金の値上げ(共済組合員の場合シングル現行五七六二円が五九〇円)が主なもので来年も現行五七六二円が五九〇円)が主なもので来年も

た休憩時間の確保、超過勤務の縮減などの勤務時間管理が十分に行われていないことが懸念される。また、次期国会で定年退職年齢が65歳に引き上げられたとき、今の労働環境で定年まで働き続けることが出来るのか。

健康で長く働き続けられる労働環境を整備するため労働条件について当局と交渉できるのは登録された労働組合だけであり、その必要性は一層増している。実行委員会の論議を踏まえ、積極的に未組織者に加入を呼び掛ける必要がある。

控訴理由書等では、同僚の新たな証言に加え、

このたびの大雪により被害に遭われた皆様方に衷心よりお見舞い申し上げます。一日も早く復旧されることを心よりお祈り申し上げます。



1月27日熊本地方裁判所前

4月から実施となる。なお、熊教組からは退職予定者を対象に実施しているライフプランセミナーの開催時期(現在2月開催)の検討等を要望した。

運営審議会は原則年2回開催されるので、共済組合の事業等に意見があればお

生活再建や服務上のお悩み等がございましたらご遠慮なくお問い合わせ下さい。

組織拡大実行委員会設置を決定

熊本教育新聞

機関紙
発行所
熊本県教職員組合
熊本県中央区九品寺
1-11-4
☎096-372-1500
<http://www.e-ktu.com>
編集発行人・杉田正幸
定価一部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

熊教組支援の公務災害認定訴訟

7月29日福岡高裁で控訴審

天草市の元教員が長時間労働が原因で障害になつたとして公務災害の認定を求めていた訴訟は、1月27日に熊本地方裁判所で敗訴してしまつたが、7月29日に福岡高等裁判所で控訴審が開始されることになった。

控訴理由書等では、同僚の新たな証言に加え、

細に述べ地裁判決の不当性を明確にしている。

人吉・球磨支部へ
支援物資を届ける

7月14日、人球支部

大雨の中での作業だったが、集まつた組合員の頑張りで復旧は進んだ。

芦北勤労者福祉会館の掃除や敷地にたまたた泥土の除去作業を行った。また、被災した退職者の自宅の災害ごみの搬出手伝いも行っている。降りしきる雨の中での作業だったが、集まつた組合員の頑張りで復旧は進んだ。

熊教組は、豪雨被害により会館が大きなダメージを受けた水芦支部からの支援要請を受け、復旧支援動員を7月11日、12日の両日行つた。県下各地から集まつた組合員は延べ19名。芦北勤労者福祉会館の掃除や敷地にたまたた泥土の除去作業を行つた。また、被災した退職者の自宅の災害ごみの搬出手伝いも行っている。降りしきる

雨の中での作業だったが、集まつた組合員の頑張りで復旧は進んだ。

連合熊本災害ボランティア募集中!

連合熊本から災害ボランティアの派遣要請が熊教組に届いている。派遣先は芦北町または人吉市である。期日は7月20日から7月

芦北勤労者福祉会館復旧作業

熊教組災害支援

からの要請を受け、生

活支援物資を届けた。

31日の間の平日。(休日は一般ボランティアが多いため)朝6時45分にグランメッセに集合しバスに乗つていくか、派遣先に現地集合するかは参加者の希望による。参加希望や問い合わせは県教組本部096(372)1500で受け付ける。

執行委員会で決定をくい

7月4日に開催された第3回執行委員会で働きやすい職場づくりアンケートに今年もとりくむことを決意した。毎年回答数が増えてきていて(昨年は2276)。組合への期待の表れでもある。期待に応えるため、結果は年末確定交渉の大きな材料にしていく。

7・15県教委交渉

県教委スクールサポートスタッフの配置を急ぐ



挨拶する杉田委員長



県教委当局

め業務を減らしてほしいと伝えると管理職から「持ち帰つてすればいい」と言われたこと。牛乳パックの後始末を休憩時間にしていること等発言は続いた。当局も必要な対応はすることを約束した。また、消毒作業などで人員が足りない点についてはスクールサポートを配置するという回答があつた。さらに、感染症対策があつたにしても時間外上限は月45時間であり、特例である月百時間は適用されないことも確認した。

7月15日、県庁にて県教委交渉を行つた。要求書に對する回答の後、交渉団が意見を述べた。新型コロナ対策で大変なこと。特に消毒作業が負担になつていること。中学校は部活動だけで45時間の時間外上限を超えること。朝4時から出勤している先生がいること。新採に対しても7時までに来いと言われること。時間を守ること。

7月15日、県庁にて

県教委交渉を行つた。

7月15日、県庁にて



マスクをつけ三密をさけて常任委員会
新型コロナ感染予防のため、専門部の活動もやつとスタートする。
六月二十七日、養護教員部常任委員の四人で学校の現状や部の定期大会、学習会、年間活動計画等が話し合われた。その中で、六月学校再開後、子どもたちの検温から心のケア、学校内の消毒作業の世話等、養護の先生方が大変な思いをされていました。

・体温計、消毒液等不足、人員も増えない。
・ボランティアの仕事の割り振りやお世話に気を遣う。
・こんな状況の中、フツ化物洗口実施の通知がきた。
・天草市では給食の牛乳パックを切り開いて自分たちで洗わなければならない。
・子どもたちが疲れている。
・マスクをつけるストレスが強い。

そのため、専門部の活動もやつとスタートする。六月二十七日、養護教員部常任委員の四人で学校の現状や部の定期大会、学習会、年間活動計画等が話し合われた。その中で、六月学校再開後、子どもたちの検温から心のケア、学校内の消毒作業の世話等、養護の先生方が大変な思いをされていました。

・検温のため朝早く出勤せざるを得ない。
・毎日の消毒が大変で時間外になってしまふ。
・部活動はその前後に検温や健康観察、用具の消毒等をされる。

・これからは熱中症も心配される。

新型コロナ感染予防のため、専門部の活動もやつとスタートする。六月二十七日、養護教員部常任委員の四人で学校の現状や部の定期大会、学習会、年間活動計画等が話し合われた。その中で、六月学校再開後、子どもたちの検温から心のケア、学校内の消毒作業の世話等、養護の先生方が大変な思いをされていました。

組のアンケート・養護教員からの回答も含む。)今一番の働き方の課題はコロナ対策である。他にも次のような課題が次々と出された。(六月実施の県教

学校再開、私たちの働き方 ～新型コロナウイルス感染症対策の影響～ 養護教員部 常任委員会

・休業中、生活リズムが崩れた児童が多くかった。
・中1の欠席や早退、保健室来室が多い。

・市町村で夏休み期間に差があり、我が子もいて、仕事と家庭の調整が難しい。

・この状況がいつまで続くか・・・業務外のことが増え、精神的にも肉体的にも疲労が大きい。

・常に気を張っていて、気の休まる時がない。

・健康診断等保健関係の日程もずれ込み、休むに休めず、へとへと。

・本来の業務である児童生徒への保健指導等に十分時間を持けない。

七月十五日県教委との服務交渉に参加する。その後、部長会や学習会で出た意見を要請書にまとめ、体育保健課との話し合いに臨む。

負担軽減に向け、課題解決を図り、本来の養護教員の業務に専念できるようになります。

相談員の皆さん 河崎醇二 古閑朝子
大野哲夫 宮部秀一 内田みゑ子 赤星裕子

くまもと 親と子と教職員の 教育相談室

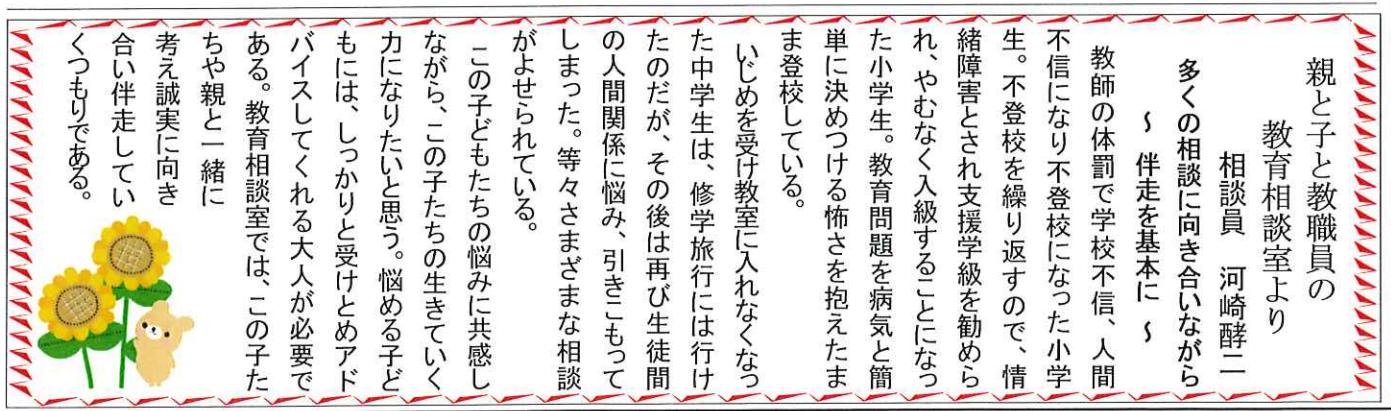
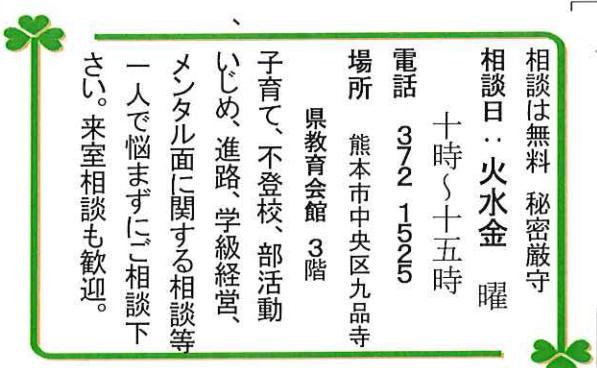
親と子と教職員の
教育相談室より
相談員 河崎醇二
多くの相談に向き合いながら
相談室をどうぞ利用して
下さい。保護者や子どもたちにも紹介下さい。

組合員の皆様
相談室をどうぞ利用して
下さい。保護者や子どもたちにも紹介下さい。

教師の体罰で学校不信、人間不信になり不登校になった小学生。不登校を繰り返すので、情緒障害とされ支援学級を勧められ、やむなく入級することになった小学生。教育問題を病氣と簡単に決めつける怖さを抱えたまま登校している。

はじめを受け教室に入れなくなつた中学生は、修学旅行には行けたのだが、その後は再び生徒間の人間関係に悩み、引きこもつてしまつた。等々さまざまな相談がよせられている。

この子どもたちの悩みに共感しながら、この子たちの生きしていく力になりたいと思う。悩める子どもには、しっかりと受けとめアドバイスしてくれる大人が必要である。教育相談室では、この子たちや親と一緒に考え誠実に向き合い伴走していくつもりである。



公務員連絡会 2020 人勧期ネット署名行動

～はなれても、みんなで団結！～

公務員連絡会は、公務員の暮らしを守るために、今年も人事院勧告期のとりくみをスタートしました。今年の人事院勧告にむけ、職種別民間給与実態調査が、月例給を除いた一時金等の先行調査として、6月 29 日から実施されています。しかし、民間給与実態は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年ない厳しい状況です。

一方、新型コロナウイルス感染症対策

に、国民・市民生活の安心、安全の確保をはかるため、公務員は連日奮闘しています。

厳しい環境にある今だからこそ、医療、福祉、教育など必要な時に必要な人にしっかりと行きわたる公務・公共サービスを守るために、この署名を通して全国各地の現場で奮闘する仲間の想いを公務員連絡会に結集し、人事院総裁に届けましょう！



【目的】

人勧期をめぐる厳しい環境にある中、医療、福祉、教育など必要な時に必要な人にしっかりと行き渡る公務・公共サービスを守るために、全国各地で連日奮闘する現場の実態や仲間の想いを人事院総裁に届ける。

【とりくみ方法】 インターネット(PC、スマートホン)による署名を行う。

※職場の PC 等は使用しないこと。

【とりくみ期間】 7月 27 日(月)～8月 28 日(金)

【とりくみ目標】 全組合員

【とりくみ内容】

* 時間外職場集会を行い、2020 人勧をめぐる情勢を共有するとともに、コロナ禍における職場(職務)の実態や今後の課題、悩みや不安、想いなどを話し合う。

* 話し合った内容を踏まえ、下記 URL ヘアクセス(QR コードからもアクセス可)し、署名する。

URL : <https://www.komu-rokyo.jp/sig2020.html>

※公務労協ホームページの署名バナーからもアクセス可能です。



【入力事項】

加盟組織:「日本教職員組合」を選択 名前:フルネームで入力

住所:「都道府県」を選択 所属する組合名:単組名をフルネームで入力

一言メッセージ:コロナ禍における職場(職務)の実態や今後の課題、悩みや不安、想いなど簡潔に入力

※一度に5人分の入力が可能です。分会長等が代表して「一言メッセージ」を職場単位で集約し、入力フォームマットにすべての分会員の名前も含め必要事項を入力してください。

養護部 mini 学習会

熊本県教職員組合養護教員部

このたびの「令和2年7月豪雨」により被害に遭われた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されたみなさまに心よりお見舞いを申し上げます。被災された皆様の救済と、被災地域の一日も早い復旧をお祈りいたします。

＜テーマ＞ 9月からの保健指導、どうする？？

- ★ 「新型コロナウイルス感染症対応を続けてきたこの5ヶ月。この秋から、何をどう指導したらいいのだろう？」と悩んでいませんか。これまで作成し、使用してきた保健指導教材・資料を持つ参できる方はぜひご持参ください。みんなでアイデアを出し合い、コロナ禍の新しい保健指導内容を考えていきましょう。
- ★ フッ化物洗口に関する調査結果について、新型コロナウイルス感染症対策と課題についても考えます！
- ★ 災害時の対応、危機管理についても意見交換をしましょう。

＜日時＞ 2020年8月29日（土）

14：50～16：20

＜場所＞ 県教育会館 5F 会議室



〒860-0976 熊本市中央区九品寺1丁目11-4

TEL 096-372-1500



充実した時間になること間違いないし！^o^
お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。